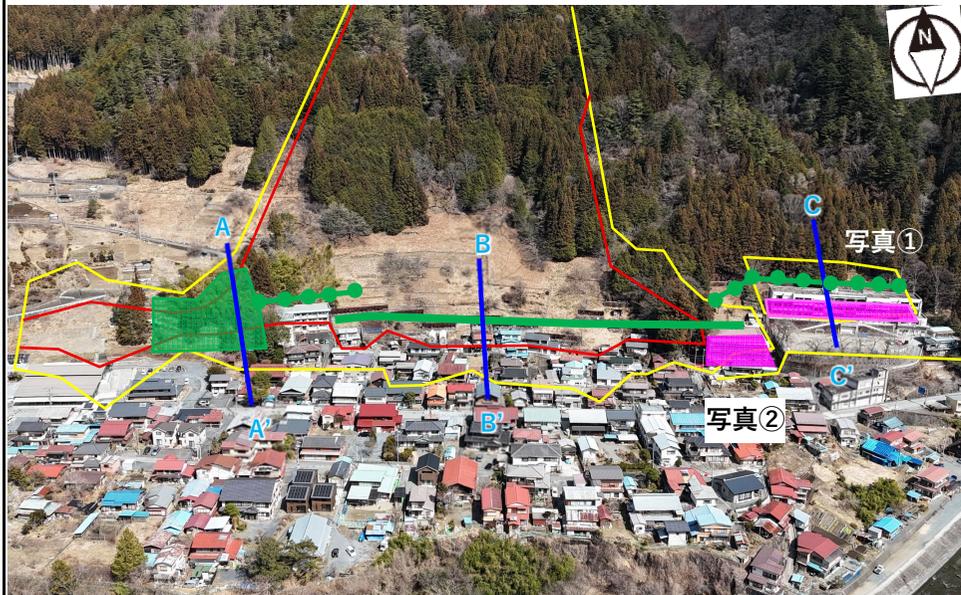


1. 事業説明シート

<p>事業名</p>	<p>急傾斜地崩壊対策事業 [急傾斜地崩壊対策事業 (国補)]</p>	<p>事業箇所</p>	<p>北都留郡丹波山村中組</p>	<p>地区名</p>	<p>中宿-1・2 (ナカヤド)</p>	<p>事業主体</p>	<p>山梨県</p>																																							
<p>(1) 事業の概要</p> <p>①課題・背景 中宿-1・2地区は山梨県東部の丹波山村中組に位置する急傾斜地であり、平成22年3月11日に土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定されている。当該斜面は、平均斜面高262m、平均勾配33度の急傾斜地で、保全対象は人家28戸と村道、丹波小学校及び体育館・丹波公民館であり、当該斜面が崩壊した場合、人命に影響のある災害となる可能性が高いため、事業の実施が急務である。</p> <p>②整備目標・効果 □主要目標 ○崖崩れ被害の防止 ・災害実績：無 ・保全人家戸数：28戸 > 5戸以上※ ・重要公共施設の有無：有 村道 L=360m (避難路) ※評価基準値 □副次目標 - □副次効果 -</p>				<p>(3) 事業の妥当性評価</p> <p>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) ○ <input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない 急傾斜地法第12条により、行政が行うことが妥当。</p> <p>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) ○ <input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない 急傾斜地法第12条により、県が行うことが妥当。</p> <p>③経済妥当性 ○ <input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない</p> <table border="1" data-bbox="1108 462 2004 678"> <tr> <td>総事業費</td> <td>800 百万円</td> <td>工期</td> <td>R8~R17</td> <td>基準年</td> <td>R7</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>630 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">3064 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>629 百万円</td> <td>一般資産被害</td> <td colspan="2">1,468 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>1 百万円</td> <td>公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">1,293 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人的被害</td> <td colspan="2">302 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">1 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3">4.9</td> </tr> </table> <p>※その他は応急対策 (家計)、人的被害 (精神的損失) 費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている</p>				総事業費	800 百万円	工期	R8~R17	基準年	R7	経済効率性	費用	630 百万円	便益	3064 百万円		建設費	629 百万円	一般資産被害	1,468 百万円		維持管理費	1 百万円	公共土木施設等被害	1,293 百万円				人的被害	302 百万円					その他※	1 百万円		B/C			4.9		
総事業費	800 百万円	工期	R8~R17	基準年	R7																																									
経済効率性	費用	630 百万円	便益	3064 百万円																																										
	建設費	629 百万円	一般資産被害	1,468 百万円																																										
	維持管理費	1 百万円	公共土木施設等被害	1,293 百万円																																										
			人的被害	302 百万円																																										
			その他※	1 百万円																																										
B/C			4.9																																											
<p>(2) 整備内容</p> <p>①整備内容 補強土防護擁壁工 H=4.0m L=200m 崩壊土砂防護柵工 H=5.5m L=125m 吹付砕工 A=1,500m²</p> <p>②着手年度 令和8年度 ③完成見込年度 令和17年度</p> <p>④総事業費 約800百万円</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table border="1" data-bbox="224 1085 1008 1197"> <tr> <td>令和8年度</td> <td>測量、地質調査、詳細設計</td> <td>30 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>用地測量・調査、用地取得・補償</td> <td>20 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和10年度</td> <td>補強土擁壁工、崩壊土砂防護柵工、吹付砕工</td> <td>750 百万円</td> </tr> <tr> <td>~令和17年度</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				令和8年度	測量、地質調査、詳細設計	30 百万円	令和9年度	用地測量・調査、用地取得・補償	20 百万円	令和10年度	補強土擁壁工、崩壊土砂防護柵工、吹付砕工	750 百万円	~令和17年度			<p>④事業実施・規模の妥当性 ○ <input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない 地形状況を考慮し、必要最小限の規模とした。</p> <p>⑤整備手法の有効性 ○ <input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない 地形・地質状況から最も効果的かつ経済的な工法とした。</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 ○ <input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない 環境負荷の少ない工法を採用する。</p> <p>⑦事業計画の熟度 ○ <input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない 地元要望に基づいており、丹波山村から受益者負担金の同意は得られている。</p> <p style="text-align:right">総合評価 [貢献度ランク: a]</p>																														
令和8年度	測量、地質調査、詳細設計	30 百万円																																												
令和9年度	用地測量・調査、用地取得・補償	20 百万円																																												
令和10年度	補強土擁壁工、崩壊土砂防護柵工、吹付砕工	750 百万円																																												
~令和17年度																																														
<p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費 未整備</p>				<p>(4) 事業位置図等</p> 																																										

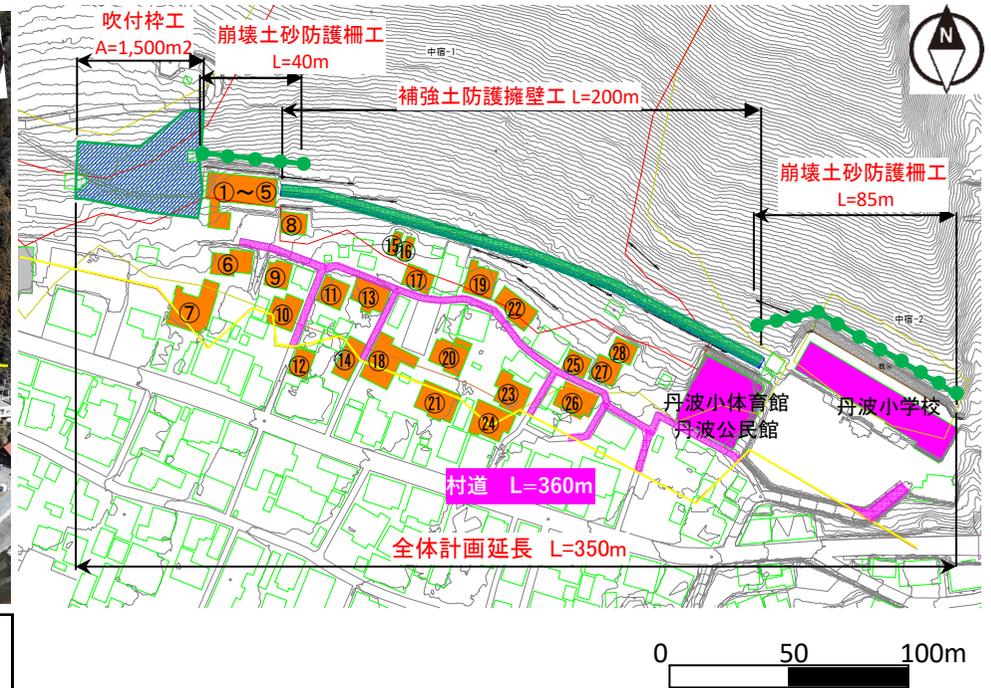
2. 添付資料シート

【斜面鳥瞰図】

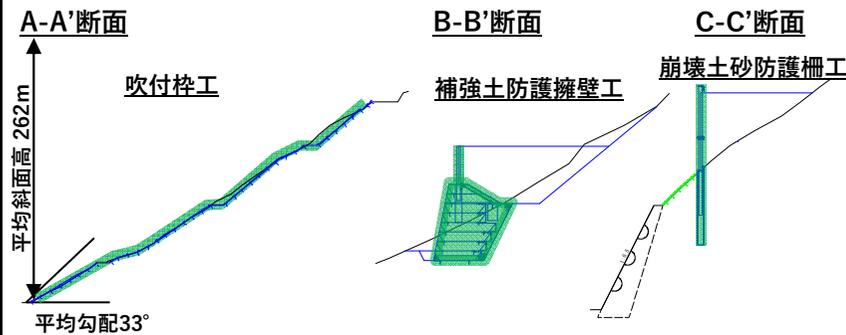


- | | |
|------------|--|
| 計画範囲 | ■ |
| 土砂災害警戒区域等 | ■ |
| 土砂災害特別警戒区域 | ■ |
| 保全対象 人家 | ■ |
| 保全対象 公共施設 | ■ |

【平面図】



【標準横断面】



①丹波小学校



②体育館・丹波公民館

